

関節リウマチに合併した間質性肺炎（呼吸器内科）

臨床研究の名称	関節リウマチ合併間質性肺炎の臨床学的後方視的検討
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 医師 山川 英晃
研究の概要	<p>【目的】</p> <p>膠原病にはしばしば間質性肺炎を合併し、関節リウマチはその代表であります。関節リウマチの合併症のなかで間質性肺炎は予後を左右しうる重要な因子で、この間質性肺炎のタイプによりリウマチそのものの治療薬にも影響がでてきます。今までに関節リウマチ合併の間質性肺炎の予後因子の検討が多くされていますが、そのなかでもCT検査で通常型間質性肺炎（usual interstitial pneumonia：UIP）のパターンを呈する場合は予後不良とされています。これは特発性間質性肺炎の診断の際に使用される分類を用いたものですが、実臨床ではリウマチを代表とする膠原病合併の間質性肺炎ではCTによるパターン分類が多くの場合困難です。近年、特発性間質性肺炎の画像パターン分類はこういった画像パターン分類が困難なものが相当数いるため以前より細かい新たな基準を提唱されました。そのため関節リウマチ合併間質性肺炎の患者様に対して、この新分類基準を用いて画像解析を行い、患者様の背景因子を詳細に検討し予後に関連する因子を探索することを目的とし後方視的に検討します。</p> <p>【対象患者】</p> <p>当院において2012年1月から2018年4月までに抗CCP抗体が計測され陽性であった症例のうち、関節リウマチおよび間質性肺炎の診断となった患者様。</p> <p>【方法】</p> <p>関節リウマチ合併間質性肺炎の診断時の検査値・画像および臨床経過を調べ、適切な解析手法により検討する。</p> <p>【使用する情報】</p> <p>年齢・性別・検査結果（血液・呼吸機能・画像）</p> <p>【個人情報の取り扱い】</p> <p>本研究で取り扱うすべての臨床情報は名前や住所など患者様個人を特定できる情報を除き、院外へ持ち出すことはなく管理するため情報が外に漏れることはありません。また研究結果を学会や論文などで報告する場合も、報告内容に個人を特定できる情報は一切含みません。もし患者様より情報提供を拒否する申し出があった場合は速やかに研究利用対象からはずさせていただきます。ただし研究結果を報告した後の申し出については対応しかねる場合があります。</p>
問い合わせ先	<p>呼吸器内科 医師 山川 英晃</p> <p>〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5</p> <p>さいたま赤十字病院</p> <p>電話番号 048-852-1111（代表）</p>